

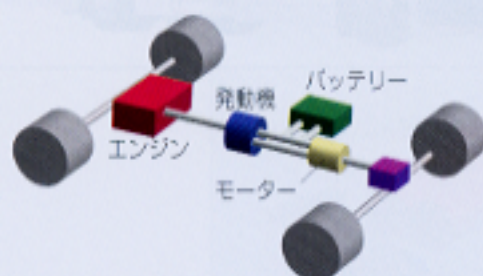
3 ハイブリッド自動車

ハイブリッド自動車は、複数の動力源（例えば、電気とガソリンエンジン、電気とディーゼルエンジンなど）を利用して、低公害化や省エネルギー化を図った自動車です。組み合わせ方法により、パラレル型（エンジン、モーターが単独又は同時駆動）、シリーズ型（モーターが車両駆動、エンジンは発電専用）、スプリット型（シリーズ・パラレル併用）に大別されます。それぞれの駆動系の短所を補い合って、長所を活かしあうことを狙っています。

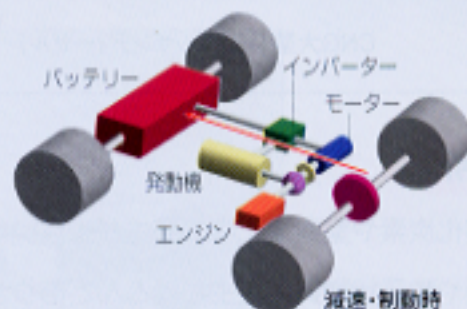
排出ガス（窒素酸化物や粒子状物質等）の大幅な削減、低燃費・省エネルギー効果が期待できます。特に、ハイブリッドの乗用車については、最近では、各クラスで発売され、他のクリーンエネルギー乗用車と比べて低価格で、ガソリンのみを燃料としていることなどから、導入台数が増加しています。

● 動く仕組み

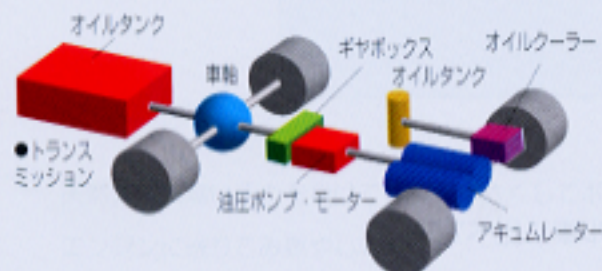
シリーズ型ハイブリッドの仕組み



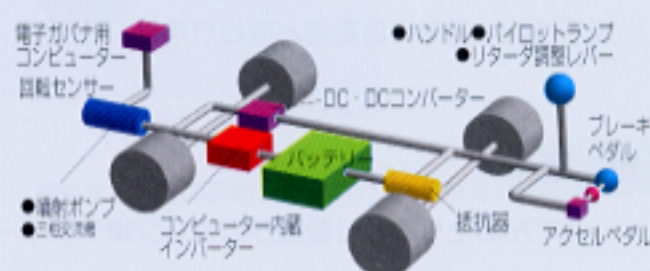
スプリット型ハイブリッド自動車の仕組み



蓄圧式ハイブリッドバスの仕組み



ディーゼル・電気ハイブリッドバスの仕組み



(出展:「低公害車のご案内」大阪市)



インサイト(ホンダ)



シビックハイブリッド(ホンダ)



エスティマハイブリッド(トヨタ)



プリウス(トヨタ)

長 所

- 二酸化炭素や窒素酸化物の発生が少ない。
- 省エネルギー効果が高い。
- 通常のガソリンスタンドで給油ができるため、大変便利です。

短 所

- 一定期間経過後、バッテリー交換が必要となる場合があります。
- バッテリー、発電併用モーター等の搭載により重量が増加します。